

じどうしつだより No.57(2006.10発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p style="text-align: center;">「いぬがかいた~い！」</p> <p style="text-align: center;">ボブ・グラハムさく 評論社 2006.6 評論社 2006.6</p> <p style="text-align: center;">1108950488</p>	<p>ケイトはさびしい。いつもいっしょにねていたねこのタイガーが冬に死んでしまったから。でも、今は夏。パパとママに「いぬがかいた~い！」って言った。犬救済センターで子犬のデイブと出会った。でも、老犬のロージーとも目があっちゃったんだ。デイブだけ連れて帰ったんだけど...</p>
<p style="text-align: center;">「いやはや」</p> <p style="text-align: center;">メアリー＝ルイズ・ゲイ作 光村教育図書 2006.5</p> <p style="text-align: center;">1108923032</p>	<p>ぼくは普通のネコの「いやはや」でも、みんなができる事がぼくにはできない。そう、ネコはみんな空を飛べるのに、ぼくは飛べない。飛べるネコになるためにいろいろ努力しているのに全然飛べない。ぼくはみんなと違う。でも、ある日気がついた...</p>
<p style="text-align: center;">「風にふかれて」</p> <p style="text-align: center;">今江祥智文 長新太絵 BL出版 2006.7</p> <p style="text-align: center;">1108948050</p>	<p>アフリカの風の強い夜。ぞうの夫婦に赤ちゃんが生まれた。大きく強くなれと「バオバブ」と名付けられた赤ちゃん。なんと翌朝にはお父さんより大きくなってしまった。あまりに大きくなりすぎたバオバブの一家は森を出て行かなければならなくなった。そして...。1997年あかね書房刊の再刊。</p>
<p style="text-align: center;">「じてんしゃにのるアヒルくん」</p> <p style="text-align: center;">デイヴィッド・シャノンさく 評論社 2006.5</p> <p style="text-align: center;">1108928244</p>	<p>ある日、農場のはずれでアヒルくんはとんでもないことを思いついた。じてんしゃにのろう。赤いじてんしゃにのったアヒルくんは大得意。出会う動物たちにごあいさつ。そんなアヒルくんをみた動物たちがみんなでしたことは？</p>
<p style="text-align: center;">「ヨンイのビニールがさ」</p> <p style="text-align: center;">ユン ドンジェ作 キム ジェホン絵 岩崎書店 2006.5</p> <p style="text-align: center;">1108928253</p>	<p>ある雨の日、ヨンイは学校に向かう途中で物乞いのおじいさんを見かける。みんながおじいさんをさげすむ様子を見て心を痛める。ヨンイは授業の合間におじいさんのところに出かけて、自分の傘をそっとさしかける。色彩の美しい韓国の絵本。</p>
<p style="text-align: center;">「わらっちゃった」</p> <p style="text-align: center;">大島妙子作 小学館 2006.8</p> <p style="text-align: center;">1108960457</p>	<p>アケミちゃんとけんかした。シーちゃんがみんなかでオロオロしてた。ころんだのも、お母さんにおこられたのも、みんなアケミちゃんのせいだ。おこっていたら、頭に何かゴツゴツしたものが生えてきた。あたし、おになっちゃった。「おばけ寄席」にいとってみると、アケミちゃんもいて...</p>